

# 理事会だより

## 第14期 第9回常任理事会

日時 4月6日 15時～21時

場所 気象庁第3会議室

出席者 島山, 北岡, 桜庭, 大田, 神山, 朝倉, 小平,  
須田, 吉野, (以上常任理事) 山本(竜), 田  
辺, (以上地方理事) 高橋監事,

全国理事会の予定であったが, 地方理事の定数不足のため, 常任理事会に切换え, 審議を行なった。

### 議題

#### 1. 学会運営の改善案について

春の総会に会員に説明して, 意見を聞き, できれば秋の臨時総会に提案し, 来年より実施したい。原案は次回の全国理事会で決定する。今回は地方支部の意見を基にしてさきのようにきまった。

##### (a) 会員の種別について

外国人会員は設けない。ただし, A会員, B会員のうち外国に在住する会員は……円とするを追加する。したがって, 通常会員となり, 選挙権, 被選挙権は保有する。学生会員は原案の通り設けない。

##### (b) 役員について

理事長の選出は原案の通り全国理事の中から理事の互選によりきめる。理事長の代行者を指名するか選挙にするかについては会員の意見などをきいた上で改めて相談する。

##### (c) 役員の配分について

地方, 常任理事の区別を止める。地区毎の会員数に応じて理事の定数をきめ, 全会員の選挙によって選出する。理事会の議をへて, 現在の常任理事に相当する理事を指名する。地区毎の理事の定数をきめるとき, 東京周辺から13名の理事が選出できるよう+αすること。

##### (d) 選挙について

根本私案の選管の細則について討論し, 大よその結論に達した。

さらに整理し, 細則に合うように原案を作成し, 次回の常任理事会に提出する。

##### (e) 事務局の強化について

北海道支部の意見は既に前総会で決定されたことに対する反対意見であるようであるのでとり上げない。従って, B会員の会費は値上げする。

また, 値上げを考えた原案を作り, その結果どのよう

に強化されるか, P. R. を目的とした案を作る。

会員が500人, 1,000人増加したとき, 実質的な収入増を次回までに試算する。

#### 2. 会員増加をはかる案(大田, 神山理事)

原案をもとにし, 少くとも入会申込書を大会, 月例会にはおくようにする。この件に関連し, 機関誌天気の内容充実についても討論された。その結果, 秋頃までに, 天気購読者の市場調査, 編集方針ならびに会員増加方策のアンケートをまとめる。

天気の論文について速報的な性格は失わないようにする。広告料の取扱いについては, 会計, 庶務とも相談して金額をきめる。

#### 3. 来年度の事業について

講演企画委員会では学会主催の「新しい気象学教室」を7月下旬に約一週間気象庁講堂で行なう。地学教育研究会の後援, 森重出版の宣伝などにより少くとも200名位の中・高校の先生が参加する見込みである。成功すれば, 将来は地方でも開催できよう。

研究発表数が増加しているので, 会場をふやすか, 日数をふやすかする方法が必<sup>要</sup>である。何れも予算措置が必要なので桜庭理事と吉野理事が相談する。

天気の増頁については, 決算をみた上で相談する。

#### 4. 総会の準備

総会の分担をきめた。ただし, 事業計画と予算案は次回に討論し, 全国理事会できめる。

### 投論論文は簡潔に

最近, 本誌への論文の投稿数が増加しています。このことは学会の発展のためにも喜ばしいことです。しかし, 頁数の制約があるため, 現在, 編集委員会の手元にはかなりの未掲載論文の原稿があります。本誌では速報性を重視しているので, 当委員会ではできるだけ速やかに掲載するよう努力しますが, 投稿される場合には, 論文が冗長にならぬよう, 内容をできるだけ簡潔にまとめ, 短かいが内容のある原稿を提出するようにして下さい。

(天気論集委員会より)